

本会議質問から

12月定例会では、9人の議員が質問を行いました。主な質問事項は次のとおりです。なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

公明党



藤岡 照代議員

質問 1 活気ある温かな地域づくりを目指して
人口減少、超高齢社会の中で、お互い支え合いながら、地域資源を活かして本市をどの様に活性化していくのか。

答弁 総合戦略を策定し、本市の特性を生かした施策を計画に盛り込み、実行することで地方創生に取り組んでいく。

質問 2 子育て支援や教育問題等市民ニーズへの対応は
子ども医療費助成の対象年齢引き上げや小中学校普通教室へのエアコン設置等、今後の導入時期について。

答弁 子ども医療費助成は、実施時期も含め総合的に検討し早期に示したい。エアコン設置は、導入手法や年次計画を十分検討し、早期実現に努める。



共産党



那須 円議員

質問 1 小学校へのエレベーターの設置について
車いす利用等の児童・生徒が在籍する小中学校へのエレベーターの設置を早急に進めるべきではないか。

答弁 26年度から増改築の際の設置規準を緩和した。個々の要望については、その趣旨や学校での問題を調査のうえ、検討することが必要。



質問 2 MICE(※1)施設整備はきっぱり中止を
桜町再開発は、市長選後に170億円も事業費が膨らんだ。後年へ多大な財政負担を強いるMICEはきっぱり中止を。

答弁 人口減少社会を迎える中、中心市街地活性化、交流人口増加に資するMICE施設整備は将来にわたり都市の活力を向上させるため重要。

自民党



小佐井賀瑞宜議員

質問 1 市街化調整区域内の規制緩和について
地域間格差解消と財産権保護の観点から集落内開発制度の開発基準を緩和するための条例整備について問う。

答弁 多核連携都市の実現に向け、立地適正化計画の策定を検討するなかで、集落のコミュニティの維持等の視点も踏まえ研究していきたい。

質問 2 硬式野球場建設について
熊本のスポーツと経済の振興、更には選手育成や市民憩いの場の創出のための硬式野球場建設について見解を問う。

答弁 藤崎台野球場は老朽化や駐車場の問題があり現地での建替は困難。建設について県市の枠にとられず県市政策連携会議で協議したい。



くまもと未来



重村 和征議員

質問 1 県民総合運動公園を活用したテーマパークを
新野球場整備を含め、総合運動公園を活用した一大テーマパークづくりについて検討すべきでは。

答弁 これからもスポーツコンベンションの誘致に県市連携して取り組む。野球場の建設については県市政策連携会議で協議したい。



質問 2 二岡中学校の武道場・体育館建設について
学校生活の場はもとより、一時避難場所として重要な施設である体育館の改築を今後どのように進めていくのか。

答弁 優先的に行ってきた構造体の耐震化が完了。体育館の改築については、学校施設全体の整備を行う中で、計画的に取り組んでいく。

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務

●市役所駐車場の円滑な管理に向けて
開場前の待機車両及び精算時の渋滞対策を講じてもらいたい。労働者の適正な賃金が担保された上で価格競争がなされるよう契約内容や入札のあり方を見直してもらいたい。

●権限移譲による工事請負契約について
高規格道路等の大型工事は、整備や維持管理に多額の経費が想定されるため、本市の財政状況及び資産マネジメントの観点から、事業内容について十分に精査・検証してもらいたい。



企画教育市民

●情報システムの大改修をチェック
マイナンバー制度(※2)導入に伴う大規模なシステム改修には多額の経費がかかり、本市財政に与える影響も大きいことから、事業の進捗状況について、随時、報告を行ってもらいたい。



●学校施設のバリアフリー(※3)推進
児童や生徒が、障がいの有無に関わらず充実した学校生活を送れるよう、障がいをもつ子どもの状況や保護者の要望等を把握し、学校施設のバリアフリー化に努めてもらいたい。

福祉子ども

●生活困窮者の自立を支援
就労準備支援については、対象者の就労意欲を喚起し就労に結びつくよう継続的な支援を求めたい。また、生活保護世帯以外の生活困窮者に対しても、既存支援メニューの周知を徹底し、支援につなげてもらいたい。



●指定管理者(※4)の指定
現行の指定管理者制度には、指定期間を定めることによる非正規雇用の発生や、専門性が蓄積されていないといった問題があることを指摘したい。

環境水道

●効率的・効果的な業務委託に向けて
環境局、上下水道局の両局において、地下水位観測に関する類似した業務委託を実施しているが、両局間で調査項目の精査・調整を行い、情報の共有化を図り、効率的・効果的な予算執行としてもらいたい。



●指定管理者の指定
議案審査の際は、総合的な判断が行えるよう、候補者選定委員会の審査結果や関連予算等の説明資料を具備してもらいたい。



この用語って何?

MICE(※1) …企業等が行う会議や研修旅行、国際会議や学会など、多くの集客が見込めるイベントの総称。
マイナンバー制度(※2) …国民一人ひとりに番号を割り振り、社会保障や税に関する情報を一元管理する制度。
バリアフリー(※3) …高齢者や障がい者が社会生活を送るうえで、障壁(バリア)となるものを取り除くこと。